



2018年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年4月27日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ブルボン
コード番号 2208 URL <http://www.bourbon.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 康
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 財務管理部長 (氏名) 山崎 幸治 TEL 0257-23-2333
定時株主総会開催予定日 2018年6月28日 配当支払開始予定日 2018年6月29日
有価証券報告書提出予定日 2018年6月28日
決算補足説明資料作成の有無： 無
決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2018年3月期の連結業績（2017年4月1日～2018年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期	117,696	4.2	5,177	7.7	5,322	14.1	3,657	0.1
2017年3月期	112,918	3.1	4,809	10.1	4,666	12.4	3,652	40.1

(注) 包括利益 2018年3月期 3,750百万円 (△15.2%) 2017年3月期 4,422百万円 (113.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2018年3月期	152.25	—	8.6	7.1	4.4
2017年3月期	152.03	—	9.3	6.7	4.3

(参考) 持分法投資損益 2018年3月期 一百万円 2017年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2018年3月期	79,505	43,984	55.3	1,830.82
2017年3月期	70,747	40,714	57.5	1,694.70

(参考) 自己資本 2018年3月期 43,984百万円 2017年3月期 40,714百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2018年3月期	10,428	△5,494	19	17,942
2017年3月期	6,306	△6,123	△1,780	12,996

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率 (連結)
	第1四半期 末	第2四半期 末	第3四半期 末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2017年3月期	—	9.00	—	10.00	19.00	456	12.5	1.2
2018年3月期	—	10.00	—	11.00	21.00	504	13.8	1.2
2019年3月期(予想)	—	11.00	—	11.00	22.00		14.7	

(注) 2017年3月期配当金の内訳 普通配当 18円00銭 記念配当 1円00銭(アイス事業参入記念配当)

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	53,900	2.5	800	△31.7	900	△30.6	600	△33.4	24.97
通期	120,700	2.6	5,200	0.4	5,300	△0.4	3,600	△1.6	149.85

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2018年3月期	27,700,000株	2017年3月期	27,700,000株
② 期末自己株式数	2018年3月期	3,675,586株	2017年3月期	3,675,457株
③ 期中平均株式数	2018年3月期	24,024,484株	2017年3月期	24,024,633株

(参考) 個別業績の概要

1. 2018年3月期の個別業績（2017年4月1日～2018年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期	113,845	3.8	4,519	5.8	4,594	2.4	3,144	△10.6
2017年3月期	109,676	2.7	4,271	7.0	4,484	7.0	3,515	34.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期	130.87	—
2017年3月期	146.35	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2018年3月期	78,098	44,747	57.3	1,862.57
2017年3月期	70,105	41,956	59.8	1,746.42

(参考) 自己資本 2018年3月期 44,747百万円 2017年3月期 41,956百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
4. 個別財務諸表	14
(1) 貸借対照表	14
(2) 損益計算書	17
(3) 株主資本等変動計算書	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、海外経済の不確実性や各国金融政策の影響などに留意する必要があるものの、世界経済の緩やかな成長を背景に輸出や生産が堅調に推移し、企業収益や雇用環境が引き続き改善するなど回復基調が続きました。

菓子・飲料・食品業界は、景気回復による個人消費の拡大が期待されるなか、付加価値を求める需要がある一方で、節約・低価格志向などの価格重視の考えなど消費活動の多様化が進みました。また、人手不足や働き方改革、生産性向上への対応が求められました。

このような状況下で、当社グループは一貫して、食品製造企業として品質保証第一主義に徹し、安全で安心な実質価値の高い商品の安定した供給と消費者ニーズにお応えしたサービスの提供など、顧客満足度の向上に向けた活動を推進してまいりました。具体的には、働き方の変化や女性の活躍推進、共働き世帯の増加などによる消費スタイルの多様化への対応として、消費者が求める多様な価値の実現に機敏かつ柔軟に取り組み、きめ細かい店頭フォロー活動や地域のニーズに合わせた企画提案型の営業活動、品揃えの強化と付加価値を高めた魅力のある商品開発を通して、お客様の満足につながる活動を推進してまいりました。

その結果、天候の影響などを受けた品目があつたものの、ビスケット品目、チョコレート品目、キャンデー品目などが伸張し売上高は前期を上回りました。利益面では、売上高の伸張とコスト削減、生産性の向上、経費の効率的な使用などに取り組んだことにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益はともに前期を上回りました。

また、経済産業省と日本健康会議より、従業員の健康管理を経営的な視点で考え戦略的に取り組んでいる法人として「健康経営優良法人～ホワイト500～」の認定と、新潟県より従業員のスポーツ活動の奨励やスポーツ分野における社会貢献活動を実施している企業として「グッド！スポーツカンパニー」の知事賞をいただきました。

一方で研究分野におきましては、産学の共同研究を通じて開発した「糖による細胞の増殖制御技術」を応用し、再生医療向け試薬事業としてヒト多能性幹細胞（iPS/ES）用増殖制御基礎培養液「Xyltech（キシルテック）BOF-01」を開発、販売を開始いたしました。

営業品目別の概況

菓子の合計売上高は109,913百万円（対前期比103.0%）となりました。

菓子では、ビスケット品目を中心として、豆菓子、キャンデー、デザート、米菓、スナック、チョコレートなどの品目を展開しています。

ビスケット品目は、パッケージビスケットのエクセレントスイーツシリーズに「ラシュクーレミルクショコラ」を発売しシリーズの充実を図ったほか、ホームカフェビスケットシリーズをリニューアルしました。アルフォートシリーズでは「157gアルフォートいちご」を発売しご好評をいただきました。また、加賀伝統野菜の五郎島金時を使用した「北陸限定ディズニーアルフォート五郎島金時」を発売しました。季節に合わせた味の展開として、抹茶、サマーフルーツ、夏塩、いも・栗、ホワイト、いちごなど各フェアを実施しました。企画商品として、夏期の冷やしておいしいシリーズ、ハロウィン、イースターをテーマとした商品展開も行いました。ビスケット商品群では、マイベネフィットシリーズやオリジナルビスケット・スタンダードビスケットシリーズがともに伸張しました。また、半生商品群では品揃えを強化した「大人プチ」シリーズのケーキ群や、「ガトーレーズンFS」などのファミリーサイズ商品群に支持をいただいたほか、焼菓子商品群では、スティックウエハース「エリーゼ」をチョコレートやホワイトチョコレートで包み込んだ「ショコラエリーゼ」を新たに品揃えし、エリーゼシリーズが伸張しました。

一方、新発売の「ボトルスナック」シリーズにおいて、環境負荷を低減した世界初のVOC（揮発性有機化合物）レス設計の水性インクジェットインクによる軟包装用フィルム印刷包装材を採用するとともに、「大人プチ」シリーズにおいては、ツーアクションで陳列でき、綺麗な仕上がりで作業の効率化で販売店様の生産性向上に寄与する“SPボックス”包装材を採用するなど、先を想定した先進的な取り組みの提案を行いました。

また、キャンデー品目は、キューブ状の小粒キャンデー「キュービィロップ」に乳酸菌を配合したのど飴を発売したほか、塩分やミネラルを手軽に補給できる「ミネラル塩飴」で環境省が参画する“熱中症予防声かけプロジェクト”に継続して参加しました。ジュワ〜っととろける新くちどけマシュマロ「とろマロ」を発売し、さらにグレープ味を加え品揃えの充実を図りました。グミ商品群は、「フェットチーネグミ」シリーズでフルーツパンチ味やレモン味などの味の展開、2つの味をアソートしたミニサイズの食べやすい“miniFS”にご好評をいただき伸張しました。

チョコレート品目は、「アルフォートミニチョコレートプレミアム濃苺」を発売し大変ご好評をいただきました。また、ぎっしりの充実感チョコレート「アーモンドラッシュ」シリーズと「レーズンラッシュホワイト」をタテ型のパッケージデザインで発売しご好評をいただきました。さらに、冬期限定の生チョコレート「粉雪ショコラ」シリーズにおいて、濃ミルク、深みカカオ、濃苺の冬だけのおいしさを展開しました。板チョコレート商品群の他、小箱チョコレート商品群、チョコスナック商品群、マイベネフィットシリーズなども伸張しました。

以上、天候の要因等により伸び悩んだ品目があったものの、ビスケット品目のほか、チョコレート品目、豆菓子品目、キャンデー品目などが伸張したことから、菓子全体でも前期を上回りました。

飲料・食品・その他の合計売上高は7,783百万円（対前期比126.4%）となりました。

飲料品目は、スポーツ支援商品「ウィングラム」シリーズに、持久系アスリート向けの「エナジックウォーター」「ハイカーボ300」とロート製菓とコラボレーションしたジュニア向けの「ウィングラムココアPET480（セノビック）」を発売しました。また、ご好評をいただいている「おいしいココナッツミルク」は、ココナッツ感をアップしたほか、乳酸菌を加えリニューアルしました。牛乳でおいしいココアシリーズのボトル缶は、取り扱い店の拡大により伸張したものの、競争激化の状況下でミネラルウォーター商品群が伸び悩んだことなどから前期を下回りました。

食品品目は、糖質控えめのごはんが炊ける「低糖質ごはん米」の販売を開始しました。マルチスタイルスイーツ「スライス生チョコレート」シリーズは、お子様や車を運転する方にも安心のアルコール含有0.0%にリニューアルし拡販を図りました。また、機能性食品では、「ウィングラム」シリーズに「ウィングラムプロテインバー（セノビック）」を発売しました。栄養調整食品「スローバー」シリーズは、スイートポテトクッキーを加え、取り扱い店の拡大により伸張しました。品目全体では、保存缶商品の需要が落ち着いたことや、既存品の粉末ココア商品が伸び悩んだことなどから前期を下回りました。

冷菓は、昨夏に自社工場での生産を開始した「ルマンドアイス」で供給の安定化を図るとともに、2018年2月に関東地域で発売し日本全国での販売となりました。2018年3月には、第2弾として「ルマンドアイスロイヤルミルクティー」を地域限定で販売開始しました。

その他品目では、通信販売事業は、付加価値を高めた商品や魅力的な品揃えの充実により、顧客の拡大とリピーターの増加に取り組みしました。

自動販売機事業は、多様な商品を取り扱うプチモールの設置環境の選択による収益効率の向上に取り組んだほか、展開推進による台数の増加に伴って伸張しました。

また、酒類販売事業は、クラフトビールへの期待が高まるなか、限定醸造ビールの発売やナショナルブランド商品、ギフト商品などが順調に推移したことから前期並みの推移となりました。

以上の営業活動により業績の向上に努めてまいりました結果、当連結会計年度の売上高は117,696百万円（対前期比104.2%）、営業利益は5,177百万円（対前期比107.7%）、経常利益は5,322百万円（対前期比114.1%）、親会社株主に帰属する当期純利益は3,657百万円（対前期比100.1%）となりました。

（２）当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における流動資産は39,920百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,042百万円増加となりました。これは主に、現金及び預金の増加と期末日休日による受取手形及び売掛金の増加があったことによるものです。固定資産は39,584百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,715百万円増加となりました。これは主に、新潟工場等の設備投資により固定資産が増加したことによるものです。

この結果、総資産は79,505百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,758百万円増加となりました。

（負債）

当連結会計年度末における流動負債は27,730百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,696百万円増加となりました。これは主に、期末日休日による支払手形及び買掛金の増加と、設備投資に伴う未払金の増加があったことによるものです。固定負債は7,790百万円となり、前連結会計年度末に比べ791百万円増加となりました。これは主に、長期借入金の増加があったことによるものです。

この結果、負債合計は35,521百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,488百万円増加となりました。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産は43,984百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,269百万円増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上と剰余金の配当があったことによるものです。

この結果、自己資本比率は55.3%（前連結会計年度末57.5%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は17,942百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,945百万円増加となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は10,428百万円（前期6,306百万円の収入、対前期比165.4%）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益5,241百万円および減価償却費3,847百万円があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は5,494百万円（前期6,123百万円の支出、対前期比89.7%）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出5,334百万円があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は19百万円（前期1,780百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入れによる収入額1,000百万円と長期借入金の返済による支出229百万円および配当金の支払額480百万円があったことによるものです。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
自己資本比率（%）	53.5	53.4	55.4	57.5	55.3
時価ベースの 自己資本比率（%）	42.1	55.5	60.2	90.2	91.7
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率（倍）	0.6	0.3	0.3	0.3	0.2
インタレスト・ カバレッジ・レシオ（倍）	71.7	154.5	197.1	517.0	1,088.1

自己資本比率 : 自己資本 ÷ 総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額 ÷ 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債 ÷ キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー ÷ 利払い

（注）1. 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

4. キャッシュ・フローおよび利払いは連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」および「利息の支払額」を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の経済環境につきましては、引き続き景気が回復基調で推移することや消費マインドの改善が期待される一方で、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動などによる先行きの不透明感が続くと考えられます。

菓子・飲料・食品業界は、人口減少や高齢化社会の進行などによる国内市場の伸び悩みから競争が激化するとともに、働き方の改革や、それに伴う業務効率化、生産性の向上、キャッシュレス化の進行および消費チャネルの多様化への対応が求められると考えられます。

当社グループは、食品製造企業として引き続き品質保証第一主義に徹するとともに、安定した原材料調達と安定供給体制の確立、IoT等を活用した最新の生産システムの構築、原材料のトレーサビリティ、フードディフェンスへの取り組み強化などにより安全、安心な品質を確保することで、より一層の品質保証体制のレベルアップに取り組んでまいります。また、「心と体の健康づくり」をテーマに、食を通じた健康づくりの提供のほか、文化・芸術活動やスポーツ、次世代育成の支援活動にも取り組んでまいります。さらに、社会的にニーズが高まっている「健康」というテーマを、新しいビジネス・飛躍へのチャンスとして、持続可能な未来社会をデザインしていく健康増進総合支援企業として社会への貢献を目指してまいります。

商品開発面では、特定保健用食品、機能性表示食品、栄養調整食品など生活習慣病予防のための当社グループの「菓食未病」の概念に基づく研究開発の強化・推進などを図る一方で、従来の発想にとらわれない新たな挑戦も継続してまいります。さらに、社会構造の変化やライフスタイルの変化、消費活動の多様化の進行による新たなニーズへの対応、新しい原材料開拓による高付加価値商品、高品質で実質価値の高い商品ブランドの育成、新カテゴリー商品の開発にも注力してまいります。

営業活動面では、各流通チャネル毎のニーズや要望へお応えした積極的な企画提案や新製品の開発を進め、顧客の期待に応える商品とサービスの提供を目指してまいります。また、自動販売機プチモールや通信販売など販売チャネルの展開推進、チルド商品や冷菓など異なる温度帯の商品展開、グローバルマーケットを視野に入れた事業展開に加え、お客様との接点である店頭を重視したマーケティング、地域に密着した細やかな営業活動に取り組んでまいります。

利益面では、時代の変化と要請とを先取りした新たな価値の創造、生産性の向上、コスト削減活動、経費の効率的な使用、省資源・省エネルギー活動などの強化に加え、高品質・高付加価値商品による市場の活性化、販売促進強化などを行うことにより、一層の利益の確保に努めてまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当連結会計年度 (2018年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,857	17,804
受取手形及び売掛金	13,298	14,513
有価証券	139	137
商品及び製品	3,566	3,707
仕掛品	441	484
原材料及び貯蔵品	2,653	2,332
繰延税金資産	704	725
その他	242	225
貸倒引当金	△25	△10
流動資産合計	33,877	39,920
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,700	30,802
減価償却累計額	△15,534	△16,302
建物及び構築物（純額）	13,166	14,500
機械装置及び運搬具	44,297	48,239
減価償却累計額	△35,340	△37,768
機械装置及び運搬具（純額）	8,956	10,471
工具、器具及び備品	4,308	4,386
減価償却累計額	△3,851	△3,915
工具、器具及び備品（純額）	457	471
土地	6,044	6,065
リース資産	1,227	1,210
減価償却累計額	△601	△602
リース資産（純額）	626	607
建設仮勘定	611	368
有形固定資産合計	29,862	32,484
無形固定資産		
ソフトウェア	348	337
のれん	1,434	1,320
その他	59	61
無形固定資産合計	1,843	1,718
投資その他の資産		
投資有価証券	3,248	3,482
繰延税金資産	1,524	1,514
その他	394	386
貸倒引当金	△2	△1
投資その他の資産合計	5,164	5,381
固定資産合計	36,869	39,584
資産合計	70,747	79,505

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当連結会計年度 (2018年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,343	12,541
短期借入金	1,520	1,520
1年内返済予定の長期借入金	129	250
リース債務	240	240
未払金	2,376	3,817
未払費用	5,255	5,676
未払法人税等	1,076	1,265
賞与引当金	1,070	1,140
返品引当金	35	32
その他	986	1,247
流動負債合計	23,033	27,730
固定負債		
長期借入金	—	650
リース債務	433	415
繰延税金負債	507	508
役員退職慰労引当金	249	261
退職給付に係る負債	5,787	5,935
負ののれん	21	19
固定負債合計	6,999	7,790
負債合計	30,033	35,521
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,036	1,036
資本剰余金	6,790	6,790
利益剰余金	34,026	37,203
自己株式	△941	△941
株主資本合計	40,912	44,089
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	582	710
為替換算調整勘定	△497	△569
退職給付に係る調整累計額	△282	△245
その他の包括利益累計額合計	△198	△104
純資産合計	40,714	43,984
負債純資産合計	70,747	79,505

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
売上高	112,918	117,696
売上原価	65,700	68,689
売上総利益	47,218	49,007
販売費及び一般管理費	42,408	43,829
営業利益	4,809	5,177
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	55	62
受取賃貸料	17	16
為替差益	—	9
負ののれん償却額	1	1
その他	65	89
営業外収益合計	145	182
営業外費用		
支払利息	12	9
減価償却費	29	18
賃貸収入原価	9	8
為替差損	230	—
その他	5	0
営業外費用合計	287	37
経常利益	4,666	5,322
特別利益		
固定資産売却益	17	0
投資有価証券売却益	665	—
特別利益合計	682	0
特別損失		
固定資産処分損	90	52
減損損失	71	29
その他	11	0
特別損失合計	172	81
税金等調整前当期純利益	5,176	5,241
法人税、住民税及び事業税	1,622	1,668
法人税等調整額	△98	△84
法人税等合計	1,524	1,584
当期純利益	3,652	3,657
親会社株主に帰属する当期純利益	3,652	3,657

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
当期純利益	3,652	3,657
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	303	128
為替換算調整勘定	264	△71
退職給付に係る調整額	202	36
その他の包括利益合計	770	93
包括利益	4,422	3,750
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	4,422	3,750
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,036	7,628	30,806	△940	38,531
当期変動額					
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△838			△838
剰余金の配当			△432		△432
親会社株主に帰属する当期純利益			3,652		3,652
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		0		0	0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△838	3,220	△0	2,381
当期末残高	1,036	6,790	34,026	△941	40,912

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	278	△762	△484	△968	37,562
当期変動額					
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					△838
剰余金の配当					△432
親会社株主に帰属する当期純利益					3,652
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	303	264	202	770	770
当期変動額合計	303	264	202	770	3,151
当期末残高	582	△497	△282	△198	40,714

当連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,036	6,790	34,026	△941	40,912
当期変動額					
剰余金の配当			△480		△480
親会社株主に帰属する 当期純利益			3,657		3,657
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	3,177	△0	3,176
当期末残高	1,036	6,790	37,203	△941	44,089

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	582	△497	△282	△198	40,714
当期変動額					
剰余金の配当					△480
親会社株主に帰属する 当期純利益					3,657
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	128	△71	36	93	93
当期変動額合計	128	△71	36	93	3,269
当期末残高	710	△569	△245	△104	43,984

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	5,176	5,241
減価償却費	3,576	3,847
のれん償却額	114	114
受取利息及び受取配当金	△60	△66
負ののれん償却額	△1	△1
支払利息	12	9
為替差損益 (△は益)	183	△5
投資有価証券売却損益 (△は益)	△665	—
固定資産処分損益 (△は益)	72	51
減損損失	71	29
売上債権の増減額 (△は増加)	△524	△1,208
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1	141
仕入債務の増減額 (△は減少)	135	2,191
未払費用の増減額 (△は減少)	1	405
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	18	12
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	223	202
その他	△383	904
小計	7,950	11,869
利息及び配当金の受取額	62	66
利息の支払額	△12	△9
法人税等の支払額	△1,694	△1,496
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,306	10,428
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付金の回収による収入	484	0
有形固定資産の取得による支出	△6,782	△5,334
投資有価証券の取得による支出	△514	△52
投資有価証券の売却による収入	796	—
その他	△108	△108
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,123	△5,494
財務活動によるキャッシュ・フロー		
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△838	—
長期借入れによる収入	—	1,000
長期借入金の返済による支出	△200	△229
リース債務の返済による支出	△308	△270
配当金の支払額	△432	△480
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,780	19
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,599	4,945
現金及び現金同等物の期首残高	14,596	12,996
現金及び現金同等物の期末残高	12,996	17,942

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

当社グループの事業は、食品製造企業として同一セグメントに属する、ビスケット類、米菓類等の菓子及び飲料食品等の食料品の製造・販売並びにこれらの付随業務であり、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
1株当たり純資産額	1,694円70銭	1,830円82銭
1株当たり当期純利益金額	152円03銭	152円25銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (百万円)	3,652	3,657
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額 (百万円)	3,652	3,657
期中平均株式数 (千株)	24,024	24,024

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2017年3月31日)	当事業年度 (2018年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,265	16,897
受取手形	102	152
売掛金	12,964	13,915
有価証券	139	137
商品及び製品	3,162	3,288
仕掛品	368	418
原材料及び貯蔵品	2,289	1,934
前払費用	119	86
短期貸付金	1,399	1,336
未収入金	604	601
繰延税金資産	632	655
その他	29	36
貸倒引当金	△1,164	△1,209
流動資産合計	32,915	38,252
固定資産		
有形固定資産		
建物	25,781	27,739
減価償却累計額	△13,283	△13,981
建物（純額）	12,497	13,758
構築物	2,528	2,658
減価償却累計額	△1,861	△1,918
構築物（純額）	666	739
機械及び装置	43,359	47,282
減価償却累計額	△34,445	△36,850
機械及び装置（純額）	8,914	10,432
車両運搬具	198	201
減価償却累計額	△175	△178
車両運搬具（純額）	22	22
工具、器具及び備品	3,468	3,491
減価償却累計額	△3,043	△3,073
工具、器具及び備品（純額）	425	418
土地	6,025	6,046
リース資産	1,177	1,151
減価償却累計額	△581	△576
リース資産（純額）	595	575
建設仮勘定	609	330
有形固定資産合計	29,757	32,323
無形固定資産		
のれん	1,301	1,196
ソフトウェア	348	337
その他	58	60
無形固定資産合計	1,707	1,594

(単位：百万円)

	前事業年度 (2017年3月31日)	当事業年度 (2018年3月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	3,102	3,331
関係会社株式	998	998
出資金	2	2
関係会社出資金	0	0
関係会社長期貸付金	2,520	2,457
長期前払費用	63	39
繰延税金資産	1,223	1,213
その他	296	312
貸倒引当金	△2,482	△2,427
投資その他の資産合計	5,724	5,928
固定資産合計	37,190	39,846
資産合計	70,105	78,098

(単位：百万円)

	前事業年度 (2017年3月31日)	当事業年度 (2018年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	1,294	1,475
買掛金	8,627	11,359
短期借入金	2,470	1,615
1年内返済予定の長期借入金	129	250
リース債務	231	229
未払金	2,091	3,522
未払費用	5,013	5,313
未払法人税等	923	1,165
預り金	632	850
賞与引当金	950	1,010
返品引当金	35	32
その他	201	184
流動負債合計	22,600	27,009
固定負債		
長期借入金	—	650
リース債務	409	390
退職給付引当金	4,866	5,020
役員退職慰労引当金	249	261
負ののれん	21	19
固定負債合計	5,547	6,342
負債合計	28,148	33,351
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,036	1,036
資本剰余金		
資本準備金	52	52
その他資本剰余金	10,012	10,012
資本剰余金合計	10,064	10,064
利益剰余金		
利益準備金	259	259
その他利益剰余金		
別途積立金	25,030	25,030
繰越利益剰余金	6,522	9,186
利益剰余金合計	31,811	34,475
自己株式	△1,537	△1,538
株主資本合計	41,375	44,038
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	581	708
評価・換算差額等合計	581	708
純資産合計	41,956	44,747
負債純資産合計	70,105	78,098

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
売上高	109,676	113,845
売上原価		
商品及び製品期首たな卸高	2,863	2,956
当期商品仕入高	10,420	10,233
当期製品製造原価	53,808	56,688
合計	67,092	69,878
他勘定振替高	192	235
商品及び製品期末たな卸高	3,009	3,148
たな卸資産廃棄損及び評価損	52	36
小計	63,942	66,530
返品引当金繰入額	35	32
返品引当金戻入額	45	35
売上原価合計	63,932	66,528
売上総利益	45,744	47,317
販売費及び一般管理費		
販売促進費	24,623	25,419
運送費及び保管費	6,165	6,546
広告宣伝費	2,182	2,259
給料及び手当	3,465	3,447
賞与引当金繰入額	269	274
退職給付費用	191	190
減価償却費	663	607
のれん償却額	104	104
その他	3,807	3,949
販売費及び一般管理費合計	41,473	42,798
営業利益	4,271	4,519
営業外収益		
受取利息	13	9
受取配当金	54	60
貸倒引当金戻入額	47	9
受取賃貸料	582	529
負ののれん償却額	1	1
その他	75	99
営業外収益合計	775	710
営業外費用		
支払利息	17	16
賃貸収入原価	502	463
為替差損	6	137
その他	35	18
営業外費用合計	561	635
経常利益	4,484	4,594

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	564	—
特別利益合計	565	0
特別損失		
固定資産処分損	90	52
減損損失	18	3
関係会社出資金評価損	100	—
その他	11	0
特別損失合計	220	55
税引前当期純利益	4,829	4,539
法人税、住民税及び事業税	1,383	1,464
法人税等調整額	△69	△68
法人税等合計	1,313	1,395
当期純利益	3,515	3,144

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本									
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
						別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	1,036	52	10,011	10,064	259	25,030	3,439	28,728	△1,536	38,292
当期変動額										
剰余金の配当							△432	△432		△432
当期純利益							3,515	3,515		3,515
自己株式の取得									△0	△0
自己株式の処分			0	0					0	0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)										
当期変動額合計	—	—	0	0	—	—	3,083	3,083	△0	3,082
当期末残高	1,036	52	10,012	10,064	259	25,030	6,522	31,811	△1,537	41,375

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	278	278	38,571
当期変動額			
剰余金の配当			△432
当期純利益			3,515
自己株式の取得			△0
自己株式の処分			0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	303	303	303
当期変動額合計	303	303	3,385
当期末残高	581	581	41,956

当事業年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本									
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本 合計
		資本 準備金	その他資本 剰余金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金		利益 剰余金 合計		
						別途 積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	1, 036	52	10, 012	10, 064	259	25, 030	6, 522	31, 811	△1, 537	41, 375
当期変動額										
剰余金の配当							△480	△480		△480
当期純利益							3, 144	3, 144		3, 144
自己株式の取得									△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）										
当期変動額合計	－	－	－	－	－	－	2, 663	2, 663	△0	2, 663
当期末残高	1, 036	52	10, 012	10, 064	259	25, 030	9, 186	34, 475	△1, 538	44, 038

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	581	581	41,956
当期変動額			
剰余金の配当			△480
当期純利益			3,144
自己株式の取得			△0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	126	126	126
当期変動額合計	126	126	2,790
当期末残高	708	708	44,747